

# 北総版 授業力向上のポイント

**必見**

～授業の前に確認するはじめての一步～



授業力向上のために、ぜひ確認してほしい  
ポイントです。日々の授業で活用してみましょう。

美術科

チェックを  
入れてみよう。

## 1 目標を明確化し、活動を精選しましょう。

- 本時の目標「どのような力を育てたいか（知識・技能、発想や構想等）」を明確にして、活動内容を精選しましょう。
- 導入時に「今日のゴール」を伝えたり、授業の流れ（課題、活動内容、振り返りなど）を提示したりして、生徒が活動の見通しをもてるようにしましょう。その際、ICTを活用することも考えられますが、板書やワークシートなどで視覚的な提示をする方が分かりやすい場合もあるので、生徒の実態や学校の環境を踏まえて検討しましょう。



## 2 材料や道具を工夫し、生徒同士が学び合える環境を整えましょう。

- 材料や道具は、安全に使用できるよう指導します。また、使用していないときの保管場所を事前に確認しておき、安全な環境を整えましょう。
- 生徒が新たな気づき、発想や構想を広げ、多様な視点で作品を捉え、表現や鑑賞の学びを深めることができるよう、材料や道具、作品の展示・保管など、活動環境の整備に努めましょう。学校規模によっては、制作途中の作品の保管場所を鑑賞の場にする、新たな気づきにつながる場合もあります。

## 3 評価と本時の目標との整合性を検討しましょう。

- 作品の出来栄だけでなく、表現の過程（主題をどう考え、発想や構想をどのように展開し、生徒がどのような思いで表現したのかなど）も評価しましょう。そのためには、ICT機器を活用したり、ワークシートを工夫したりして、目標との整合性のあるものにしましょう。

- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校 美術）  
（国立教育政策研究所）

[https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r070214\\_mid\\_bijyut.pdf](https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r070214_mid_bijyut.pdf)

- ・学習指導要領に対応した学習評価（中学校 美術科）

：学習指導要領編 No.55（NITS 独立行政法人教職員支援機構）

<https://www.nits.go.jp/materials/youryou/055.html>

学習指導要領の目標や  
内容との整合性を図る

学習のねらい

整合性

ワークシート  
等の設問